



製品紹介



[会社概要](#)

[moconaviとは](#)

[moconaviが選ばれる理由](#)

[システム構成](#)

[導入実績](#)

[moconaviシリーズ](#)

[ご利用に関する案内](#)

会社概要

会社名	株式会社レコモット
代表者	代表取締役CEO 東郷 剛
設立	2005年11月
資本金	69,650,000円
所在地	東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル8F
事業内容	<ul style="list-style-type: none">• 携帯電話関連製品の開発・販売・運用• コミュニケーション関連システムの受託開発• 電子通信事業 届出番号：A-30-16513



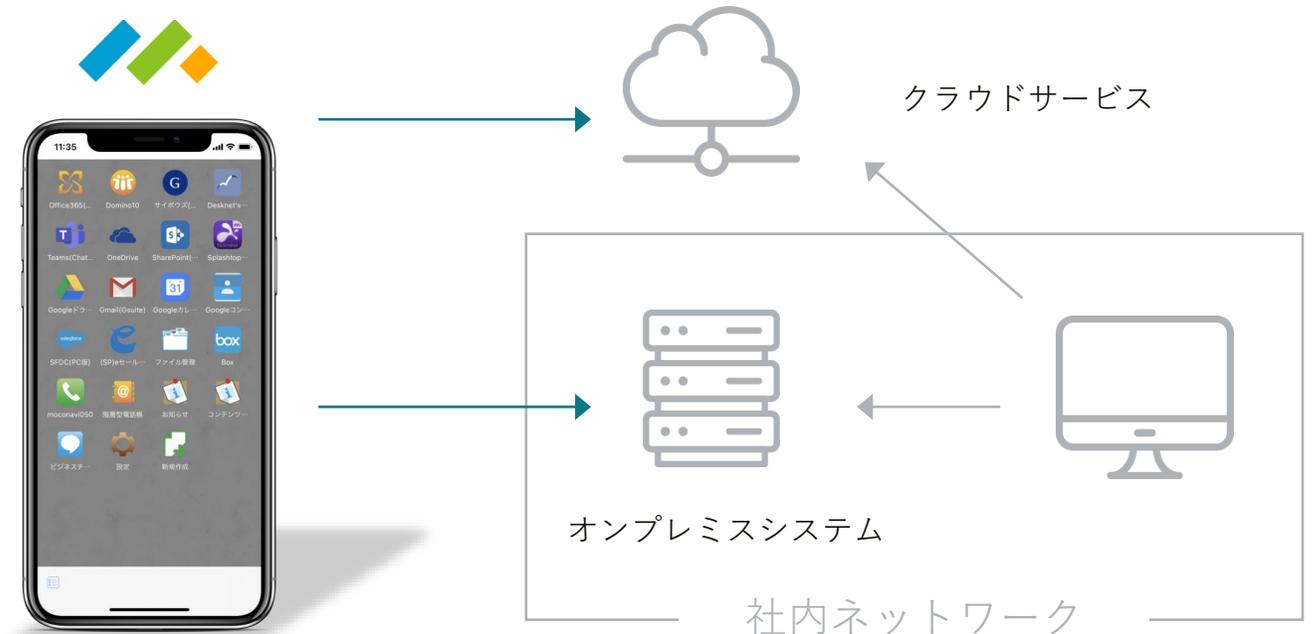
moconavi とは？



moconaviなら、今いる場所がオフィスになる

moconaviは、普段業務でご利用のシステムにモバイル端末からの安全な接続経路を提供します。モバイル端末にインストールしたmoconaviアプリからクラウドやオンプレミス上のメール・ファイルサーバ等へ接続し、オフィスにいるかのように業務システムをご利用いただけます。

高いセキュリティと操作性で
柔軟な働き方をサポート





MDM (Mobile Device Management)

端末/OS/資産管理

アプリケーションの制御・OSのアップデート等の管理や端末情報の管理。
リモートワイプによる端末紛失対策も。

moconavi

リモートアクセス管理

moconaviから様々なシステムにアクセス。
アクセスした業務データはmoconavi内のみで利用でき、端末ローカルには
業務データを残さない。

社給端末ならMDMとの併用を推奨。セキュリティを強固に。
BYODでは業務領域とプライベート領域の分離効果。

moconaviは端末にデータを残さない。
それぞれの特性を活かしてセキュリティ対策に活用

紛失時のデータ消去

MDMのリモートワイプ、70%以上のシステム管理者が失敗を経験しています。
moconaviなら心配なし！

リモートワイプの失敗経験者は**70%以上**

※1 ※2



※1：出典株式会社テクノ・システム・リサーチ

「2020-2021年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析 -モバイル管理パッケージ」モバイル管理市場調査より。

※2：アンケート回答総数 148件

moconaviはアプリを閉じればデータなし
リモートワイプ不要



moconavi が選ばれる理由



特長1

堅牢なセキュリティ

- サンドボックス化されたセキュアな環境
- 人為的ミスも未然防止
- セキュアなログイン



特長2

多様なサービス連携

- 幅広いサービスに対応
- 連携サービスはいくつでも可



特長3

直感的な操作感

- 直感的でわかりやすいUI
- サクサクと快適に動作



特長4

簡単導入・低コスト

- 充実したサポート体制
- 業務システムをまとめて管理

moconaviの特長① 堅牢なセキュリティ

サンドボックス化されたセキュアな環境



moconaviの独自アプリはサンドボックス化され、業務システムを安全に利用可能。

※サンドボックス：外部に影響を与えない隔離された環境



アプリアイコン

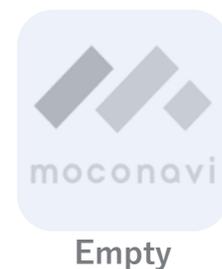


サンドボックス化された
セキュアなオリジナルアプリ
(アプリのトップ画面)



ウィルス感染リスク

端末がマルウェアに感染しても
アプリ内（=社内）に侵入しない



端末紛失リスク

端末にデータが残らないので
紛失時のリモートワイプも必要ない

moconaviの特長① 堅牢なセキュリティ

人為的ミスも未然防止



画面キャプチャやコピー＆ペーストなど、ユーザ操作の制御設定で人為的ミスも防ぎ、業務データを保護。

データの持ち出しを抑止 & BYODでも安心◎



ダウンロード



コピー＆ペースト



画面キャプチャ



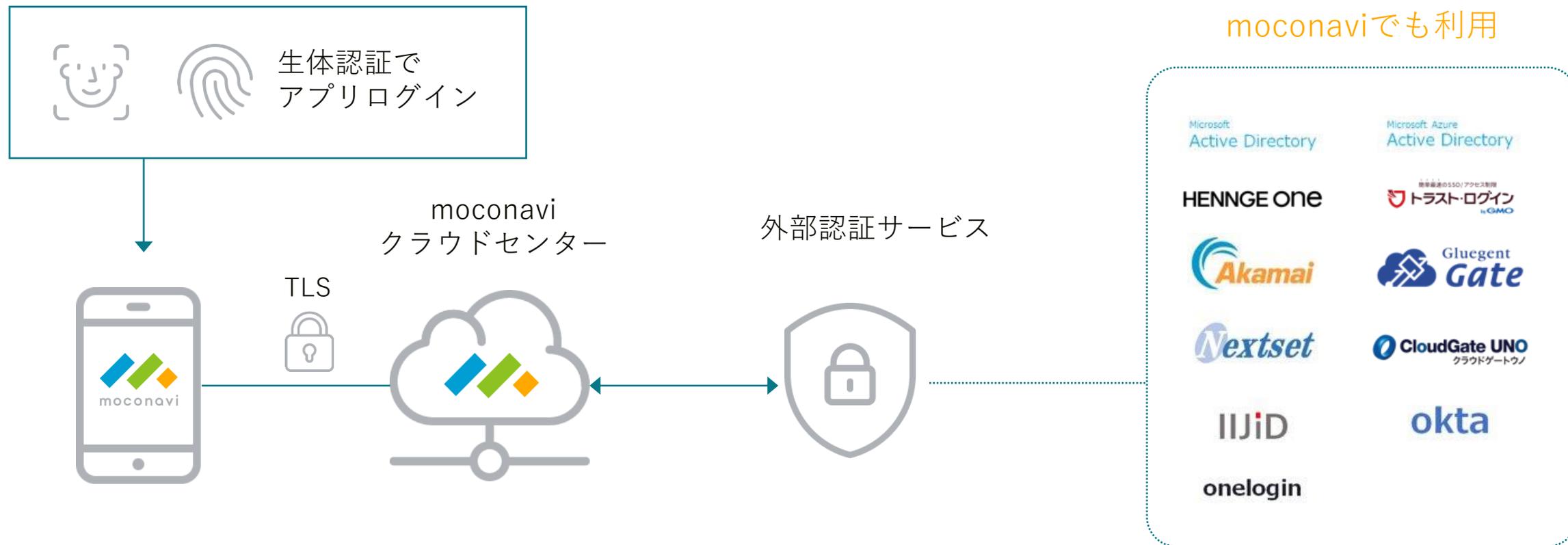
プライベート領域

moconaviの特長① 堅牢なセキュリティ



セキュアなログイン

端末識別番号を利用した端末認証で端末を特定。証明書不要。
Azure ADをはじめとした外部認証サービスとの連携や生体認証にも対応。



既存の認証基盤を
moconaviでも利用

moconaviの特長② 多様なサービス連携

幅広いサービスに対応



認証・セキュリティ

MDM: Optimal Biz, BlackBerry, Microsoft Intune

VPN・閉域網: KDDI CPA, docomo アクセスマニマム, SmartVPN, Cisco AnyConnect

多要素認証: PassLogic, SECUREMATRIX

IDaaS: okta, HENNGE ONE, Microsoft Azure Active Directory, CloudGate, Gluegent Gate, トラストログイン, OPTiM ID+

情報共有

Garoon, サイボウズ Office, POWER EGG 3.0

グループウェア: desknet NEO, Microsoft 365, Lotus Notes / Domino, Google Workspace, Microsoft Exchange

ストレージ: box, Microsoft SharePoint, Microsoft OneDrive, Google Workspace, Dropbox Business



UC & コミュニケーション

電話・UC: UNIVERGE CERTIFIED, KDDI KDDIビジネスコールダイレクト, docomo オフィスリンク, ConneCTalk, moconavi 050, モバイルフォイス“050”

ビジネスチャット
コラボレーション: Microsoft Teams

タレントマネジメント: kaonavi

顧客管理・ワークフロー

CRM: レールスマネージャー Remix cloud, salesforce, Microsoft Dynamics 365

名刺管理: sansan, レールスマネージャー Remix cloud, ホットプロファイル

WebDB / ワークフロー: SmartDB, kintone, ジョブカン, Intra-mart, Agile Works, X-point Cloud

リモートデスクトップ: splashtop, moconavi RDS by SplashTop

moconaviの特長② 多様なサービス連携

(参考) moconaviのサービス提供方式



外部サービス連携

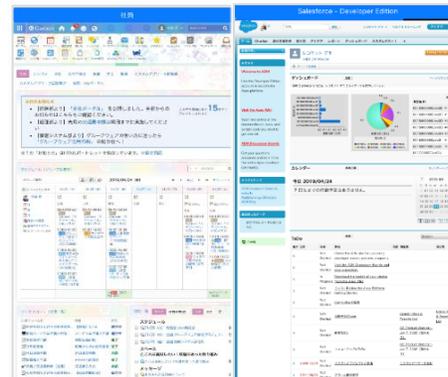
API連携

moconaviが独自UIを提供



セキュアブラウザ連携

キャッシュの残らない
ブラウザから利用



moconavi独自サービス

moconaviご契約であれば無償で利用可能



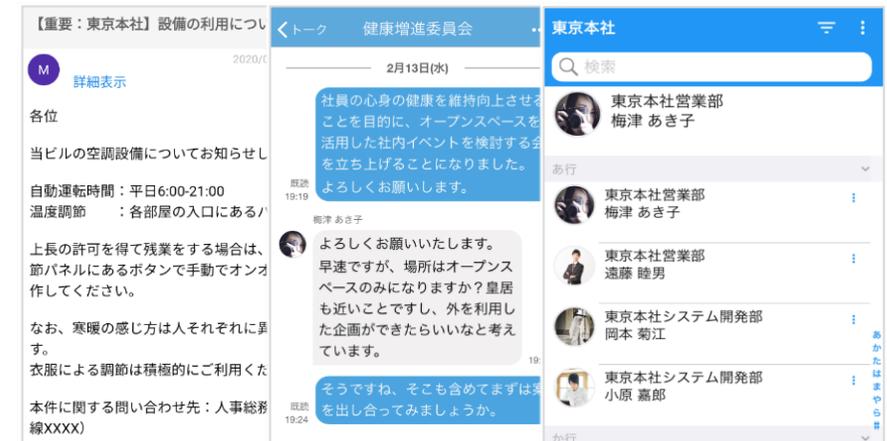
お知らせ機能



ビジネスチャット



moconavi
アドレス帳

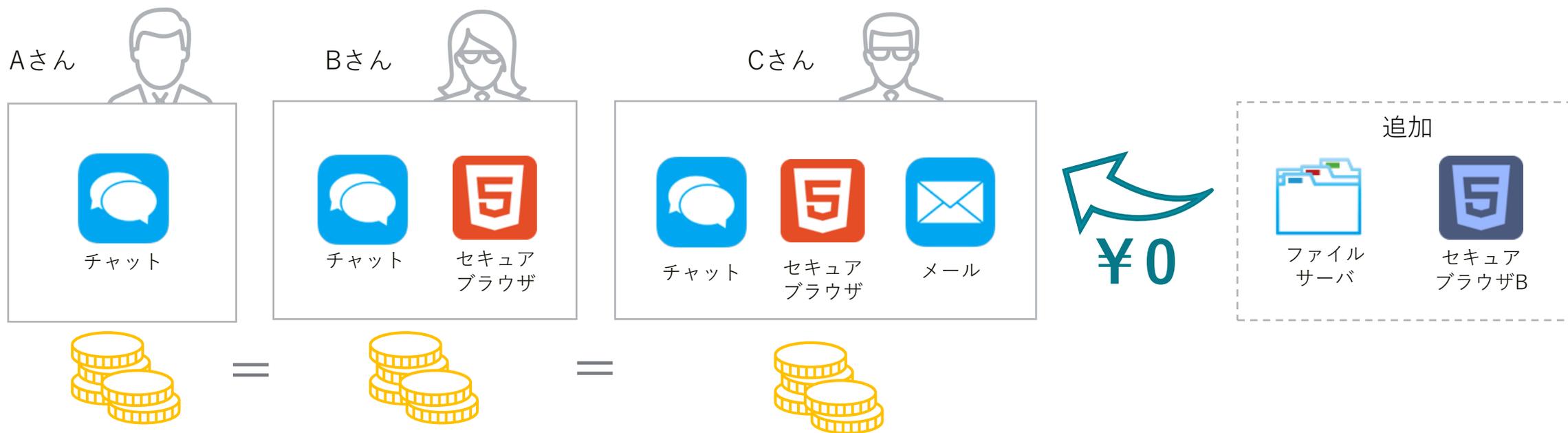


moconaviの特長② 多様なサービス連携

連携サービスはいくつでも可



moconaviから接続するサービス数やサービスの種類はライセンス費用には影響しません。費用を気にすることなく、いくつでも連携サービスを増やすことができます。



- ✓ A、B、Cさんは利用しているサービスの数も種類も異なりますが、**moconaviライセンス料は同額**です。
- ✓ moconavi導入後もサービスをいくつ追加しても**追加費用はかかりません**。

moconaviの特長③ 直感的な操作感

直感的でわかりやすいUI



視認性を重視したシンプルなデザイン。マニュアル不要の直感的な操作性。
モバイル端末からの利用に最適化されたmoconavi独自UI

※サービスによっては独自UIに対応していない場合があります



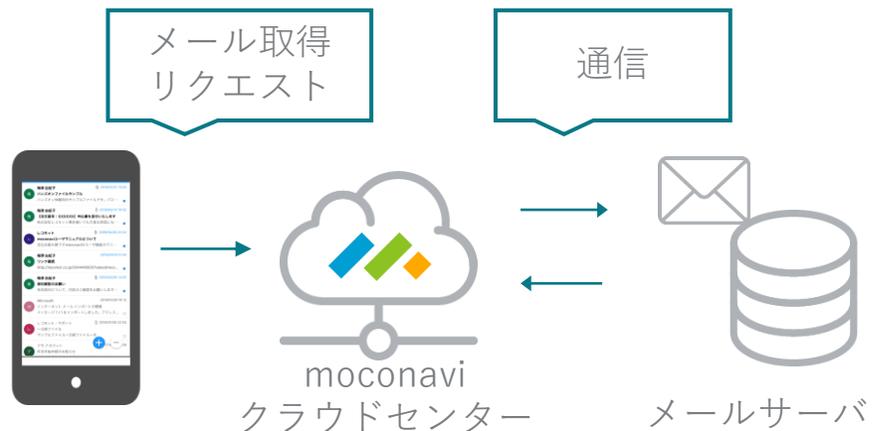
moconaviの特長③ 直感的な操作感

サクサクと快適に動作



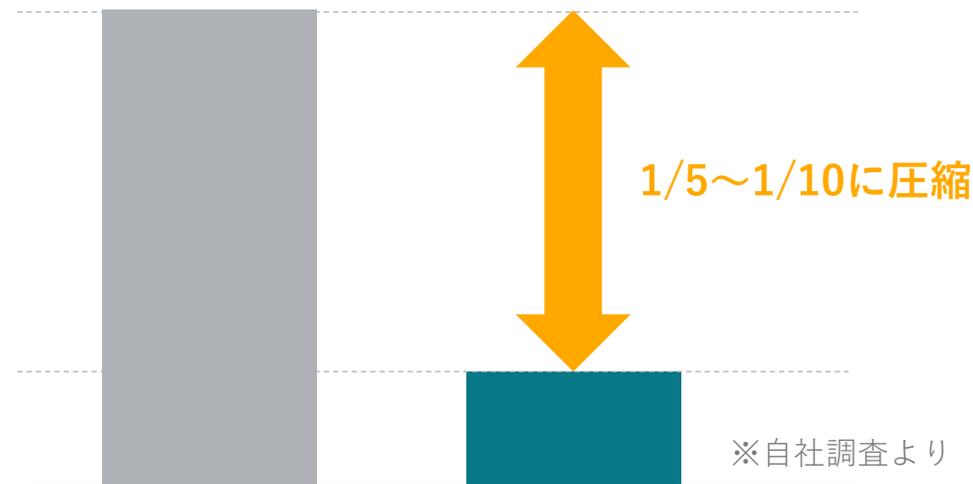
ネットワーク負荷を軽減する仕組みでサクサクと快適。

必要な時だけ通信



- ・ ネットワークや接続先システムにPollingしない
- ・ 端末アプリからのリクエスト時のみ通信
- ・ 無駄な通信がなく、ネットワーク負荷をかけない

パケット圧縮



- ・ パケットを圧縮して通信する独自設計
- ・ 非圧縮時と比較して1/5~1/10程度の通信量
- ・ 高い通信効率で、システムと端末それぞれの負荷を軽減

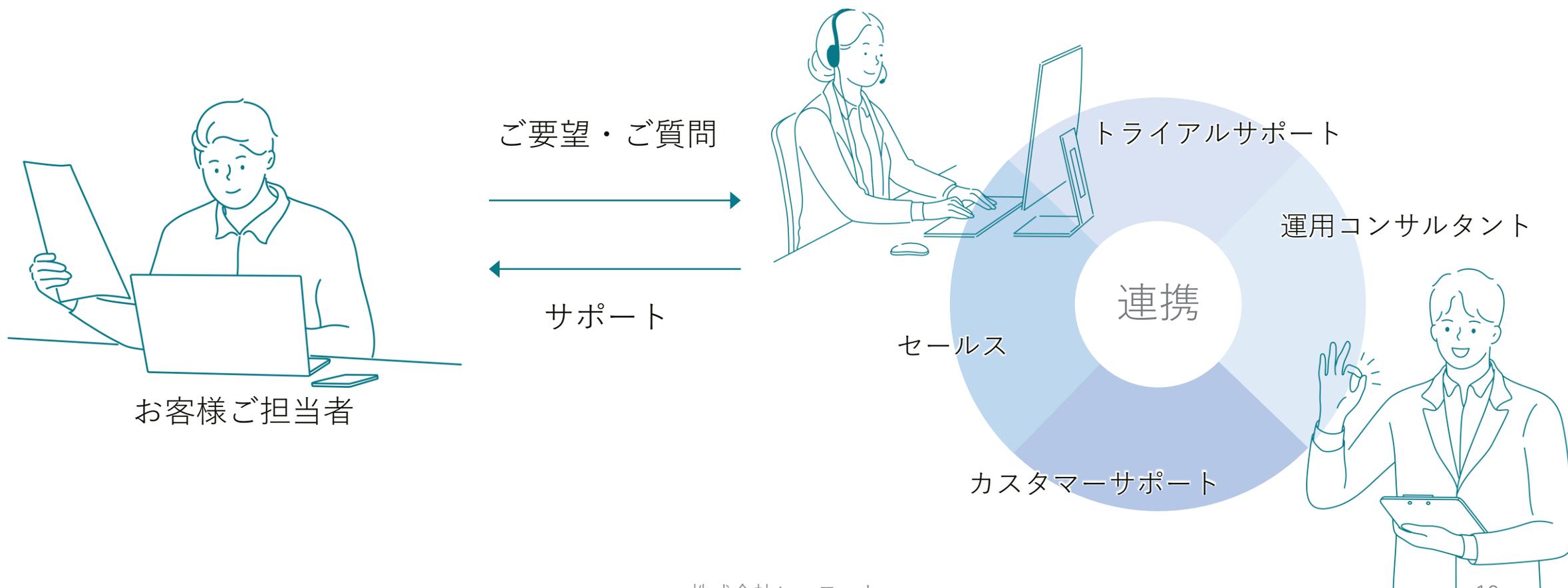
moconaviの特長④ 簡単導入・低コスト

充実したサポート体制



安心のサポート体制でお客様のmoconavi運用をお手伝い。

お客様からのご要望・ご質問内容に応じ、各担当チーム同士が連携しサポート



moconaviの特長④ 簡単導入・低コスト

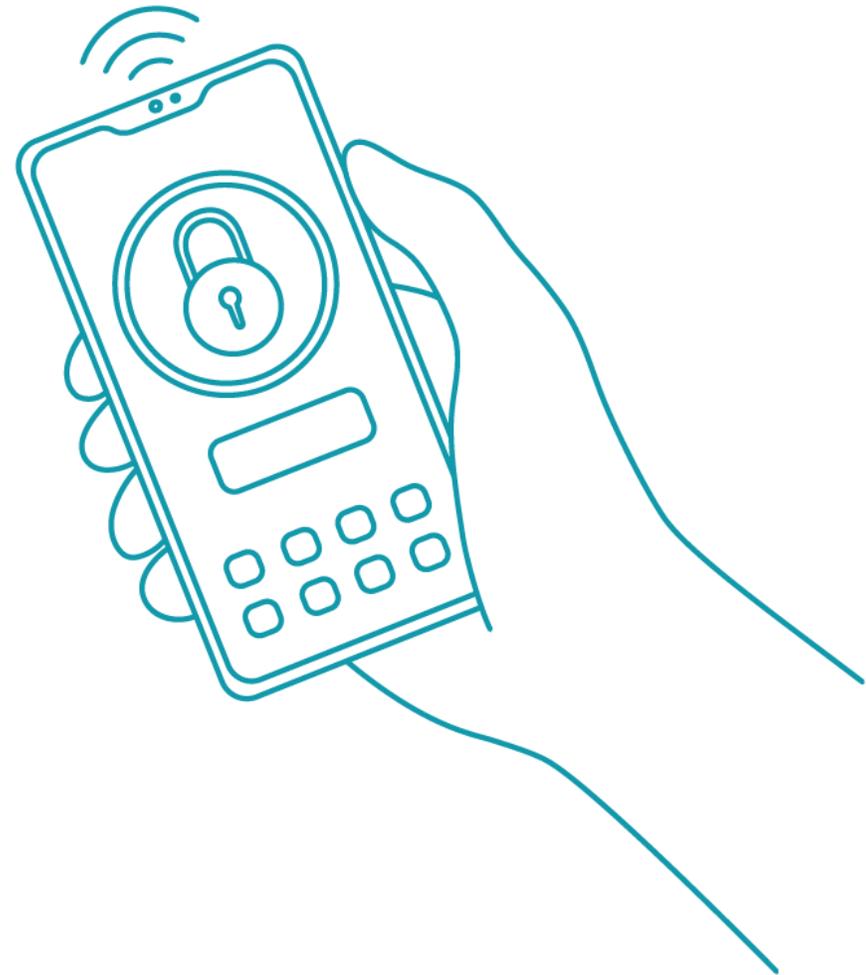
業務システムをまとめて管理



moconavi経由で業務系ツールの利用をすれば、moconaviでまとめてポリシー制御やアプリ配布。個別のアプリをひとつひとつ導入したりポリシー制御の設定する必要はありません。

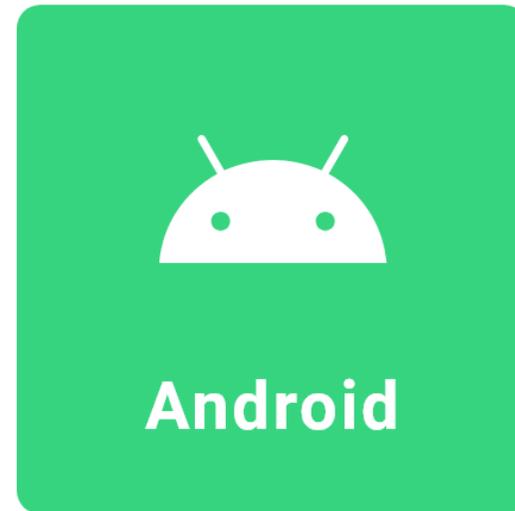
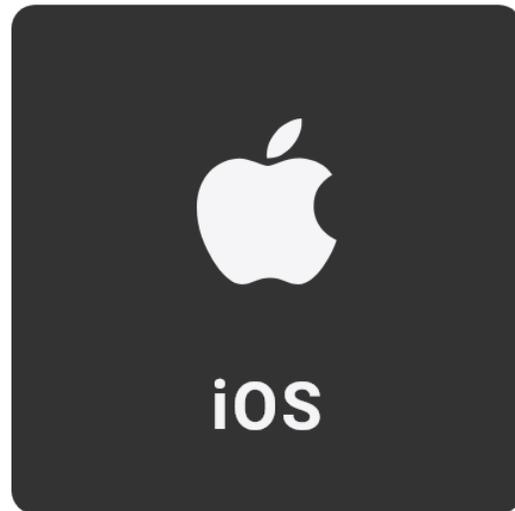


 システム構成



マルチデバイス・マルチOS

各種OSを搭載したスマートフォン、タブレットからの利用が可能です。

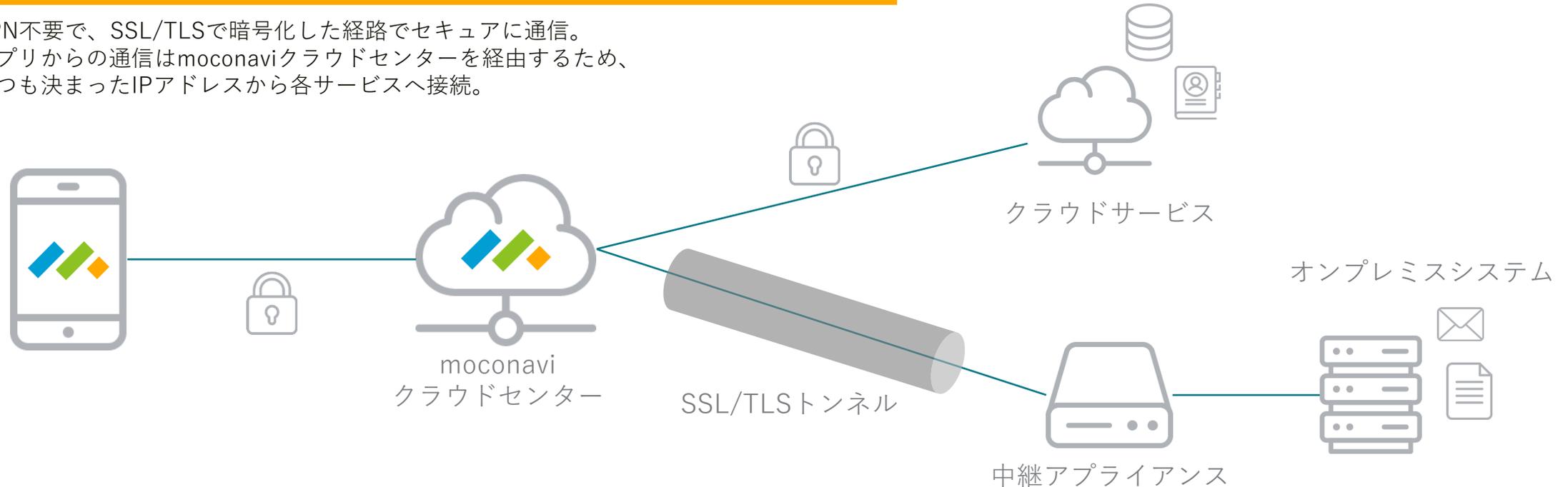


それぞれの環境に合わせて開発されたネイティブアプリで、
どんな端末でも同一の操作感。

moconaviのセキュアなシステム構成

セキュアな通信経路

VPN不要で、SSL/TLSで暗号化した経路でセキュアに通信。
アプリからの通信はmoconaviクラウドセンターを経由するため、
いつも決まったIPアドレスから各サービスへ接続。



多要素認証

アプリログイン時は、ID/PW認証と端末認証
の多要素認証。証明書不要で端末を識別。

オンプレミスシステムにも簡単・セキュアに接続

中継アプライアンスを設置するだけで、オンプレミスシステムにも簡単接続。moconaviのグローバルIP
に対して443ポートのアウトバウンド通信ができれば、FWの設定変更は不要。

社内システムにも簡単につながる

中継アプライアンスを利用すればオンプレミスシステムにも簡単接続。

■ レンタル中継アプライアンス

- 中継ソフトウェアをプリセットしたマイクロサーバーを提供します。
- ご利用ID数の目安は1,000ID/1台。
- 30日間の無料トライアル実施中（レンタル中継アプライアンスを無償で貸し出し）

必要システム
プリセット
済み

社内サーバへのアクセスをされる場合は
レンタル中継アプライアンス



社内に接続先システムがある場合、VPNクライアントソフトとコネクターソフトをインストールした中継アプライアンスの設置が必要となります。

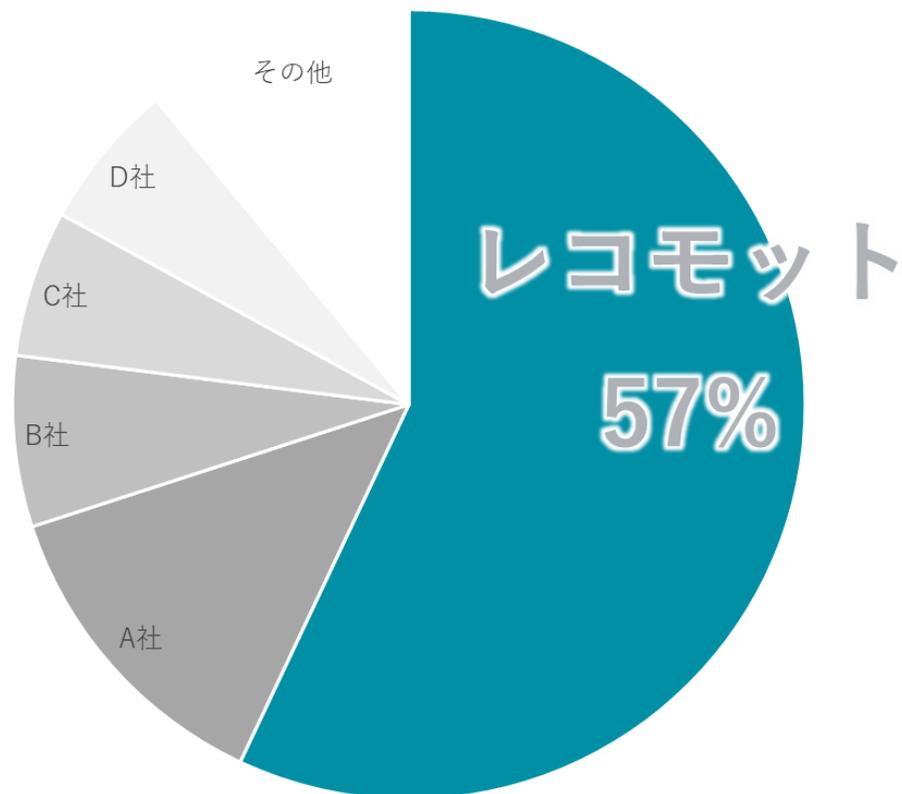
レンタルをご利用いただければ、必要システムをプリセットしたうえで、お客様へご提供します。

お客様に独自にサーバーをご用意いただき、弊社パートナーのエンジニアが中継ソフトウェアをセットすることも可能です。



導入実績





モバイル管理市場（MAM）において
4年連続市場シェア **NO.1** (※1)



※1：出典株式会社テクノ・システム・リサーチ「2021-2022年版エンドポイント管理市場のマーケティング分析ーモバイル管理パッケージー」
モバイル管理ソフトウェア・SaaS市場調査より。

豊富な導入企業





株式会社清水建設様

稼働開始：2018年10月 導入規模：15,000ID

事例詳細はこちら <https://moconavi.jp/casestudy/shimizukensetsu/>

導入前の課題

利用人数の増加に伴うツールの導入・管理のコスト

オンプレミスのモバイル活用ツールを利用していたが、ユーザ増加に伴うサーバ構築や運用のコストが大きかった。

モバイル端末活用ニーズの増加

業務用のモバイル端末や自分のモバイル端末からイントラネットやファイルサーバ、メールにアクセスしたいという要望の増加。並行して固定電話の内線携帯化計画も。

課題解決・導入のポイント

サーバーの構築などが不要で、導入コストを抑えられる

拡張性と可用性に優れているため、利用人数の増加にもコストを抑えながら対応できる。

連携できるSaaSが豊富

クラウド名刺管理のSansanと連携させて電話をかけてきた相手の氏名を表示したり、Microsoft 365やイントラネットなども利用できて便利。

迅速なサポート対応

導入前の段階でも営業とエンジニアが連携し、迅速に対応してくれた。

お客様の声

「moconaviは、利用人数が増えても拡張性と可用性に優れているため、導入コストを抑えることができる点に加え、電話連携（社内の電話帳の誘導や発信者表示機能）もできる点が決め手となりました。以前のツールと比べても機能面で劣るところはなく、データを端末に残さないため、紛失や盗難などでの情報漏えいのリスクが少なく、セキュリティが担保されているところも気に入りました」



デジタル戦略推進室
情報システム部
インフラ企画グループ：
中村 壮吾 氏

電話・UC

Exchange
Online

社内システム

コスト削減

固定電話の
廃止

社給端末
管理



和歌山県庁様

稼働開始：2014年3月 導入規模：800ID

社内システム

テレワーク

社内の
業務支援BYOD
導入

事例詳細はこちら <https://moconavi.jp/casestudy/wakayamaken/>

導入前の課題

外出先から県庁内のシンクライアントにアクセスできない

出張中のメールやスケジュール確認には、唯一県外からシンクライアントシステムにアクセスできる東京営業所への立ち寄りが必要。

人員削減が続いているため、ICTによる業務効率化が急務

県職員削減の一方で出張は増加、ICT活用による行政事務の効率化が必要。

課題解決・導入のポイント

キャリア網経由の通信を暗号化でき、通信の傍受を防げる

キャリア網経由の通信を暗号化することで通信経路上での秘匿性を確保でき、盗聴や改ざんを防止。

端末にデータが残らず、情報漏洩の防止を徹底的できる

端末にデータがなければ、紛失時の遠隔消去が不要。さらに画面の保存も不可能になっているため、データ漏洩防止を徹底できる。

BYODでも安全に利用でき、端末購入費を抑えられる

強固なアクセス認証やウィルス対策といった機能も装備しているため、個人所有のスマートフォンを業務利用するBYODでも、十分な安全性を確保可能。

お客様の声

※実証実験を兼ねた海外でのワーケーションについて

「インターネット接続環境さえあればmoconaviが動くスマートフォン1台で、メールの送受信からスケジュール管理、ファイルアクセス、グループウェアの操作まで可能なので、仕事が滞ることはありませんでした。また何より安心だったのは、端末に情報が残らないため、万一海外でスマートフォンを紛失したとしても、情報漏えいを心配する必要がなかったことです」



企画部 企画政策局
情報政策課
課長補兼
ネットワーク班長：
坂本 浩之 氏

株式会社十六銀行様

稼働開始：2020年5月 導入規模：4,000ID

事例詳細はこちら <https://moconavi.jp/casestudy/jurokuginko/>

導入前の課題

内線電話システムの老朽化と管理コスト

社内コミュニケーションの基盤が、老朽化の進んだ固定電話のシステムによる内線電話。配置換えやメンテナンスで多大なコストがかかっていた。

社給ガラケーでの業務推進の柔軟性の低さ

支給している業務用の携帯電話（ガラケー）は通話のみの利用に限定されており、利便性が悪かった。

課題解決・導入のポイント

大規模なコスト削減

内線のスマホ化に加え、幅広い機能に対応したmoconaviに業務の役割を集約することで約2,000万円の運用コストの削減を達成。

スマホ業務でのエンドポイントセキュリティ

moconaviの多要素認証と端末にデータを残さない仕組みにより、スマホによる業務の利便性とセキュリティの課題をクリア。

セキュアな社内環境へのアクセス

レコモットが提供する中継アプライアンスを設置することで、行外からでも行内のシステムに安全にアクセス可能な環境を実現。

お客様の声

「moconaviは1ユーザーあたりの利用料が安く、幅広い機能を装備していることも魅力の1つです。moconaviによって行内のコミュニケーションは劇的に変化し、フリーアドレス化も実現できました。moconaviのポテンシャルはまだ大きく、今後も社内システムやグループウェアの行外利用、TeamsやSansanとの連携、ビジネスチャットの活用促進なども検討していきます」



経営管理部
総務管財グループ：
奈良 隆夫 氏

グループウェア

コミュニケーション

メール

ワークフロー

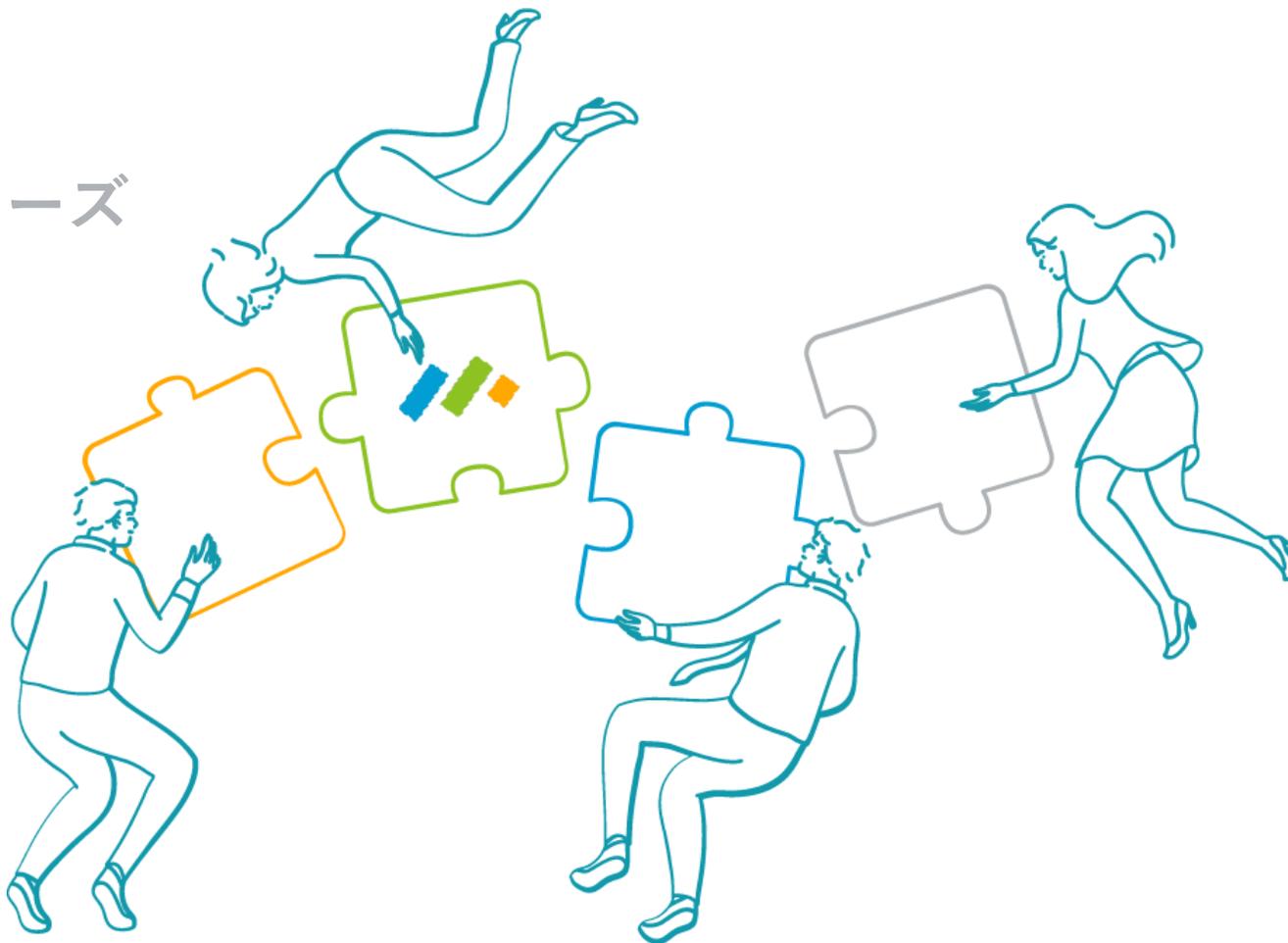
コスト削減

セキュリティ強化

テレワーク

固定電話の廃止

 moconavi シリーズ



データを残さない！テレワーク課題解決3点セット

リモートデスクトップで社内PCアクセス
認証連携 (SSO)



セキュアMAM

Microsoft365もオンプレもこれ1つ！
セキュアなリモートアクセス。



オフィスへの電話を050に転送！
(050+着信連携)



moconavi 050



VPNレス、高セキュリティのリモートアクセス、公私分計050で全ての課題を解決！

ビジネスとプライベート、2つの電話番号を1つのスマホで持つことができるサービスです。

moconavi 050 の特長

通話した分だけの従量課金制※

回線交換ネットワークを用いた安心の音声品質

ビジネス専用の050番号が持てる

業務で使用した通話料金は会社に一括自動請求

※契約番号単位でユニバーサルサービス料がかかります。



moconavi RDSは、リモートでPCを操作できるリモートデスクトップツールです。

moconavi RDS の特長

会社のPCにどこからでもアクセス

社内のPCをリモートで操作し、業務アプリや社内システムを利用

BYODに最適

画面のみ転送するため接続元PCにはデータが残らない

簡単導入

アプリインストールで簡単導入、VPNやサーバ構築不要

SAML2.0連携

様々な認証サービスと連携できる



 ご利用に関する案内



30日間・20ユーザーまでの
無料トライアルをご用意しています。
お客様のシステム環境で実際にお試しいただけます。



トライアル中のQAや接続できないといった
トラブルシューティングは
お客様専任のトライアルサポートチームが
対応します。



Q1 説明資料に無いサービスでもmoconaviから利用できますか。

HPやご紹介資料には、実績のあるサービスのうち一部を掲載しております。記載がないサービスへ接続されたい場合は、個別にお問い合わせください。また、これまでに実績のないサービスであっても、ブラウザ上でご利用のサービスであれば接続検証が可能です。トライアル期間中からお試しいただけますので、どうぞお気軽にご相談ください。

Q2 MDMを導入しているのですが、moconaviと併用は可能ですか。

moconaviとMDMとの併用は可能です。広い定義で同様のものとも捉えられがちですが、それぞれの長所を活かすことで、よりセキュアな業務環境を整えることができます。

Q3 海外での利用はできますか。

ご利用の端末や接続先のサービスがmoconaviクラウドセンターと通信できる環境であれば、海外でも利用できます。moconaviのアプリは各国のストアからもインストール可能です。ただし、一部海外の通信キャリアでは正常にアクセスできない可能性があり、その場合はサポート対象外となりますのであらかじめご了承ください。本格導入の前に、小規模のアカウントにてお試しいただくことをお勧めします。

Q4 アクセス元にIP制限をかけているサービスは、moconaviから利用できますか。

moconaviからお客様システムへアクセスする際は、moconaviクラウドセンターを経由します。moconaviクラウドセンターのIPアドレスを許可する設定を行えば、IP制限を維持したままセキュアな状態でmoconaviをご利用いただけます。

Q5 moconaviはオンプレミスのシステムにも接続できますか。

お客様のネットワーク環境に中継アプライアンスを設置することで、オンプレミスのシステムもご利用いただけます。中継アプライアンスはレンタルにてご提供します。もしくはお客様で機器をご用意のうえ、レコモットから提供するソフトウェアをインストールして構築いただくことも可能です。(構築作業のご依頼はご相談ください。)

Q6 中継サーバの設置要件を教えてください

接続先となるサーバが繋がる領域(LAN内)から、アウトバウンド方向へ443ポートが開いていることが条件となります。Proxy経由の接続も可能です。

Q7 プライベートの端末での利用は、情報漏えいなどのセキュリティ上の心配がありますか？

moconaviは、エンドユーザの端末には一切業務データを残さない仕組みを採用しています。そのため、プライベート端末でもしっかりとした情報漏えいの対策が可能です。端末の紛失などが発生した場合には、管理画面でユーザアカウントを停止状態にすることで、たとえ端末にmoconaviアプリが残った状態であってもデータへのアクセスは不可能となります。

Q8 操作方法や設定方法で分からないことがあったらどうすればいいですか？

サポートサイトにて、Webマニュアルやよくある質問の記事の閲覧、サポート担当者へのお問合せが可能です。

今いる場所がオフィスになる



※記載の各商品名・各製品名は各社の登録商標または商標です。